

【開催県挨拶】

第68回全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会鳥取大会

開催県より大会祝辞

鳥取県教育委員会 教育長 足羽 英樹



「第68回全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会鳥取大会」が開催されますことを、鳥取県教育委員会を代表しまして心からお祝いを申し上げます。

また、皆様方には、日頃から、それぞれの地域における肢体不自由教育の充実と発展のために御尽力いただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、令和6年12月に、中央教育審議会により「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問がなされ、次期学習指導要領の改訂に向けて審議が進められてきています。予測が困難な時代にあっても、「持続可能な社会の創り手」となる子どもたちの育成を目指し、全ての子どもが多様で豊かな可能性を開花することができるよう、教育への期待と役割が大きくなっていきます。そのような中で、特別支援教育の考え方は、特別支援教育分野の専門性向上や進展のみならず、障がいの有無に関わらず、教育全体の質の向上に寄与するものであり、今後ますます特別支援教育の進展が求められています。

鳥取県におきましては、県民一人一人が障がい及び障がいのある方に対する理解を深め、障がいのある方が暮らしやすい社会づくりに努めるあいサポート運動に取り組んでいます。

そして、鳥取県教育委員会では、「自立して心豊かに 幸せな未来を創造する ふるさとととりの人づくり」を基本理念とした「鳥取県教育振興基本計画」を策定し、本県教育が中長期的に目指すべき姿と取組の方向性等を明らかにし、総合的かつ計画的に教育施策に取り組んでおり、特別支援教育の充実、取組の重点事項の一つです。障がいのある子どもの教育の更なる充実に向けては、「鳥取県特別支援教育推進計画」を策定し、中でも、特別支援学校においては、一人一人の教育の充実を目指した教育環境の整備やICT活用の充実、高度な医療的ケアを必要とする子どもに対する教育や支援体制の充実、センター的機能の充実等に取り組むとともに、障がいのある子どもたちが夢や目標に向かって生きることができるよう取組を進めているところです。

本研究協議会に御参加の皆様の地域でも、特別支援学校が担う使命と役割が高まっており、大きな期待がかけられていることと思います。このような意味からも、各地域から御報告いただくことは、大変意義深いものであります。このオンデマンドでの配信を御視聴いただくことで、特別支援教育の推進に大きな成果が得られますことに御期待申し上げます。

結びに、本研究協議会の開催に御尽力いただいた関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、本会のますますの発展と皆様の御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。